

公益社団法人調布市スポーツ協会
令和6年度第2回定時総会 議事録

- 1 日 時 令和7年3月19日（水）午後6時30分～午後7時20分
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり12階「大会議場」
調布市小島町2丁目33番地1
- 3 出席者 正会員現在数32名
 - (1) 出席者（27名）

隈川哲男（陸上競技協会）、林まゆみ（卓球連盟）
森本昌宏（軟式野球連盟）、島崎康男（ソフトテニス連盟）
箕輪聖子（剣道連盟）、山本瑞穂（弓道連盟）
酒井昌男（バドミントン連盟）、後藤和頼（スキー連盟）
佐々木政美（フォークダンス連盟）、原田大輔（なぎなた連盟）
関口剛（空手道連盟）、清水良夫（ソフトボール連盟）
山川昌次（硬式野球連盟）、佐藤裕二（サッカー協会）
堀義幸（市民ゴルフクラブ）、磯野賀瑞夫（合気道会）
門傳良男（ウオークリング協会）、佐野貢三（テニス連盟）
熊坂誓志朗（早朝野球連盟）、北本和俊（ダンススポーツ連盟）
木場雅子（レディースバレーボール連盟）、鈴木正秀（少年野球連盟）
高木芳裕（少年サッカー連盟）、高松光子（インディアカ連盟）
遠藤剛（フロアボール協会）、鈴木信一（グラウンド・ゴルフ協会）
山下裕功（ラグビーフットボール協会）
 - (2) 欠席者（5名）

伊藤量彦（柔道連盟）、秋山徹（バレーボール連盟）
鈴木佐知子（水泳連盟）、中野岳治（バスケットボール協会）
小澤尚弘（フェンシング協会）
 - (3) 理事出席者（11名）

林清一、門脇義徳、秋沢淳雄、矢幡秀治、新井富一、長田克巳
高橋美智代、曾木憲一、稲山孝樹、樋口亘子、徳永孝正
 - (4) 理事欠席者（5名）

金子日出澄、山口昌之、植松真徳、田辺一男、瀧柳伸央
 - (5) 監事出席者（2名）

原島秀一、山岸義大
 - (6) 同席者
調布市長 長友貴樹
調布市議会議長 井上耕志
公益社団法人調布市スポーツ協会事務局職員6名

4 議 案 令和6年度第2回定時総会議案

- (1) 報告第2号 令和7年度事業計画について
- (2) 報告第3号 令和7年度収支予算について
- (3) 報告第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて
- (4) 報告第5号 調布市フライングディスク協会の入会について

5 総会の開会

定款第13条第1項及び第17条の規定に基づき、総正会員の議決権の過半数を有する正会員の出席があったので、公益社団法人調布市スポーツ協会林会長の挨拶の後、総会を開会した。

6 議事の経過の要領及びその結果

定款第15条で総会の議長は当該総会において正会員の中から選出するにより、司会者から議長選出の提案があり、司会者一任の声があったため、調布市インディアカ連盟の高松光子氏を推薦、満場一致で承認され高松氏が議長となり議事に入った。

次に議長より、定款第21条で定める議事録署名人について、調布市バドミントン連盟の酒井昌男さん、調布市グラウンド・ゴルフ協会の鈴木信一さんが推薦承認された。

続いて議事進行の秩序を保つため、正会員の質疑・発言については、各議案の内容説明の後をお願いしたい旨を述べた。また、正会員の質疑、発言については、議長の指名の後に行うようお願いしたい旨を述べた。

(1) 報告第2号 令和7年度事業計画について

このことについて、担当理事の説明が終了し、特に質問もなく終了した。

(2) 報告第3号 令和7年度収支予算について

このことについて、担当理事より資料に基づき説明を行った。

[説明・質疑等の要旨]

スキー連盟：事務局職員が1名採用されるのは、どのような理由からですか。

理事：事務局より説明いたします。

議長：事務局からお願いいたします。

事務局：部活動地域連携・地域移行推進事業、調布市パラスポーツ体験会及び調布市運動習慣定着事業を新たに調布市より受託します。また、部活動地域移行・地域連携については令和9年度よりスポーツ協会がコーディネーターの役割を担うことから、その準備も含めた業務増加に伴う職員採用となります。

その他、質問等はなく了承を得た。

(3) 報告第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて

このことについて、担当理事の説明終了後、特に質問もなく終了した。

(4) 報告第5号 調布市フライングディスク協会の入会について

このことについて、担当理事の説明終了後、特に質問もなく終了した。

7 議長解任

すべての議題について審議を終了し、議長が解任された。

8 総会の閉会

公益社団法人調布市スポーツ協会秋沢常任理事より閉会の挨拶があり、令和6年度第2回定時総会を閉会した。

9 議事録作成者

議事の経過及びその結果を明確にするため、本議事録を作成した。

議事録作成者 公益社団法人調布市スポーツ協会 専務理事 門脇義徳

上記の議事経過の要領及びその結果を明確にするため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

令和7年3月19日

議 長

印

署名人

印

署名人

印